柔　　　　　道 　 （ 令和７年度 ）

兼全国及四国高校県予選

日　　時　５月31日（土） ８：00　開場　　９：00　審判・監督会議

９：30　開会式・個人試合

 ６月１日（日） ８：00　開場　　９：30　審判・監督会議

10：00　選手集合・**団体**試合

会　　場 愛媛県武道館　　５月３１日（土）主道場　　６月１日（日）柔道場

競技種目 1 男子団体試合・女子団体試合

 2 男子個人試合７階級

 （60㎏級・66㎏級・73㎏級・81㎏級・90㎏級・100㎏級・100㎏超級）

 女子個人試合７階級

 （48㎏級・52㎏級・57㎏級・63㎏級・70㎏級・78㎏級・78㎏超級）

審判規定 1 国際柔道連盟審判規程による。ただし、申し合わせ事項を含む。

 2 申し合わせ事項

 ⑴　試合時間は4分間とする。

 ⑵　個人戦の判定基準は「有効」または僅差以上とする。団体戦における「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。団体戦及び個人戦での「僅差」は、「指導差２」とする。「技の内容」と僅差の重みは、以下の項目の順とする。　　（一本勝＝反則勝＞技あり＞有効＞僅差）

 ⑶　団体代表戦、個人戦において得点差がない場合は、時間無制限の延長戦により勝敗を決し、「有効」以上の得点があった時点か、指導差が出た時点で試合終了とする。

 ⑷　団体戦の代表選は、その対戦に出場した選手から任意に選出して行う。

競技方法 1 団体試合　試合は点取り試合とする。トーナメントを行い、ベスト4が

 決定以降はリーグ戦により順位決定を行う。

 ⑴　トーナメント戦、リーグ戦の勝敗の決定は次による。

 ア　勝ち数の多いチームを勝ちとする。

 イ　アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

 ウ　イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

 エ　ウで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

オ　エで同等の場合は、トーナメント戦は代表戦を行う。リーグ戦は引き

分けとする。

 ⑵　リーグ戦の順位の決定は次による。

 ア　勝ち数（チーム単位）の多いチームを上位とする。

 イ　負け数（チーム単位）の少ないチームを上位とする。

 ウ　イで同等の場合は、リーグ戦を通じて勝ち数の多いチームを上位とする。

 エ　ウで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

 オ　エで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを上位とする。

 カ　オで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。

キ　カで同等の場合は、リーグ戦を通じて負け数の少ないチームを上位とする。

 ク　キで同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

 ケ　クで同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。

 コ　ケで同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。

サ　コで同等の場合は、代表戦を行う。

　　　　　 2　個人試合　トーナメントまたはリーグ戦で行う。

参加資格 1 令和６年度愛媛県高校総体要項参加資格による。

 2 (一財)愛媛県柔道協会を経て、全日本柔道連盟に登録をする。

参加制限 1 団体試合　1校1チーム

1. 男子団体―監督1、選手5、補員1 （選手の配列は自由とする。3名以上で出場を認めるが、5名に満たない場合は後ろ詰めとする。）

 ⑵　女子団体―監督1、選手3、補員1（選手の配列は自由とする。2名以上で出場を認めるが、3名に満たない場合は後ろ詰めとする。）

 2 個人試合　希望する階級に全員出場することができる。

　　　　　　　　　　　　（令和7年度より地区予選を廃止）

申込方法　　1　高体連事務局に所定の用紙で学校単位にて申し込む。

 2 出場選手名簿作成の都合により、メールにてozaki.0506.0305@gmail.comにも同じ

　　　　　　　 ものを送信すること。（メール送信締切**５月１日（木）**）

表　　彰 1 団体優勝チームには賞状・優勝旗・盾を与する。

 2 団体2、3位及び個人1～3位には賞状を授与する。

 3 団体・個人1位に全国大会出場資格を与える。

 4 男子団体・個人1～4位、女子団体・個人1、2位に四国大会出場資格を与える。

計　　量 1 個人試合の計量は、**５月30日（金）開会式終了後～17：00に**柔道場で行い、計量にパスしない者は出場できない。30日（金）に計量できない選手については、31日（土）8:15～8:45の時間に計量することができる。

 2 計量の服装は、上半身Tシャツ、下半身は柔道着（ズボン）で行い、1㎏未満の超過を認める。

参加上の 1 6月1日（日）監督会議までにオーダー表（図1参照）を提出する。提出

注　　意　　　 後はオーダーの変更はできない。

 2　補員は欠員部分に補い、一度退場した選手はその後一連の試合に出場でき

　　　　　　　 ない。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 先鋒 | 次鋒 | 中堅 | 副将 | 大将 | 学校 | 縦 26㎝横 72㎝ |

 図1　 オーダー表（女子は先鋒、中堅、大将に記入）

 3 柔道着の背中に規定のゼッケン（図2参照）を取り付ける。ゼッケンのない選手は失格とする。

|  |
| --- |
| ○ ○ |

 図2　 ゼッケン（縦25～30㎝、横30～35㎝）

⑴　----------の部分を縫い付けること。（縦横ならびに対角線）

 ⑵　苗字（姓）は上側2／3。学校名は下側1／3。

 ⑶　書体は太いゴシック（または楷書）、男子は黒色、女子は赤色。